



平成 29 年 9 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社富士テクノソリューションズ  
(コード番号 2336 TOKYO PRO Market)  
代 表 者 名 代表取締役 高井 男  
問 合 せ 先 総務・財務管理部長 岩澤 隆則  
T E L 046-294-1061  
U R L <http://www.fjtsc.co.jp>

### 事業計画の概要について

【売上高及び損益計画】平成 30 年3月期

(単位:千円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株当り 当期純利益
平成 29 年3月期 (実績)	1,629,319	28,849	20,154	19,395	24.02 円
平成 30 年3月期 (計画)	1,807,372	73,264	46,226	30,226	37.43 円

【平成 30 年3月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国新政権の政策運営や北朝鮮問題などの海外情勢により先行きに懸念があったものの、国内においては、広く景況感の改善がみられ、雇用情勢も改善傾向にありました。

一方で、当社グループが注力している情報処理請負事業・技術者派遣事業は安定成長が継続し、特に当社グループの主要取引先である製造業においては、依然として開発に関する投資を継続しており、技術開発や製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者の要請も引き続き堅調に推移しております。

## (2) 個別の前提条件

### ① 売上高

情報処理請負事業につきましては、引き続き装置設計開発企業を中心とした受注が堅調であるものの、前期に受注した大口の試作案件が今期は規模を縮小することから、受注はほぼ横ばいを見込まれ、売上高は、801,150 千円(前期比 0.4%増)と予想しております。

技術者派遣事業につきましては、装置設計開発企業及び自動車メーカー等からの技術者派遣の依頼が堅調であり、新卒採用及び中途採用での技術者数の増加が見込まれることから、売上高は 859,592 千円(前期比 19.6%増)と予想しております。

プロダクト販売事業につきましては、(株)エフティ・ファインテックプロダクトが販売している中小企業向けの 3Dプリンタ受注増加が見込まれることから、売上高は、146,630 千円(前期比 29.2%増)と予想しております。

この結果、売上高は、1,807,372 千円(前期比 10.9%増)を予想しております。

### ② 売上原価、売上総利益

平成 29 年 3 月期の各事業の売上原価を考慮して見積もっております。この結果、売上総利益は 444,373 千円(前期比 9.6%増)と予想しております。

### ③ 販売管理費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、平成 29 年 3 月期の実績に採用計画および昇給等による人件費の増加、退職給付費用の減少を考慮し 371,109 千円(前期比 1.4%減)と予想しております。この結果、営業利益は 73,264 千円(前期比 154.0%増)と予想しております。

### ④ 営業外損益、経常利益

営業外収益につきましては、平成 29 年 3 月期の実績を考慮して見積もっております。営業外費用につきましては、平成 29 年 3 月期の実績に、株式公開費用 20,000 千円を考慮して見積もっております。この結果、経常利益は 46,226 千円(前期比 129.4%増)と予想しております。

### ⑤ 当期純利益

法人税等 16,000 千円を控除した結果、当期純利益は 30,226 千円(前期比 55.8%増)と予想しております。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の再現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意

味においても保障するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容(事業計画に関する業績目標も含まれますがそれらに限られません。)は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他多様な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。